



利用案内

投影日時

- 投影日時については児童センターまでお問い合わせいただくか、ホームページでご確認ください。
- 入場は投影開始15分前からです。
- 投影は、幼児も観覧できますが、保護者の同伴が必要です。



ご案内図



休館日

毎週火曜日、祝祭日(5月5日を除く)
年末・年始(12月29日～1月3日)

観覧料

- 無料です。

新型コロナウイルス
感染症対策
ご協力をお願い



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館の際は必ず「お名前・連絡先」の記入、マスクの着用と検温・手指の消毒をお願いしております。
また、感染状況により投影を中止させていただく場合がありますのでご了承ください。

伊勢崎市児童センター

〒372-0023 伊勢崎市柏川町1609 TEL. 0270-23-6463 FAX. 0270-23-6477
<http://www.city.ise.saki.lg.jp/> <http://www.ise-shakyo.or.jp/>

伊勢崎市児童センター

プラネタリウム 春

2022 No.153

表紙「こぐま座」

月の女神アルテミスにつかえる美しいニンフ(妖精)カリストがいました。彼女は大神ゼウスに愛され、やがてアルカスという男の子を産みます。しかし、これを知ったアルテミスは怒って、カリストを熊の姿に変えてしまったのです。熊になったカリストは森の奥に消えていきました……。

それから何年もたったある日、成長したアルカスは森の中で一頭の熊を見かけます。それは、幼いころ別れた、母カリストでした。ところが、そうとは知らないアルカスはカリストに矢を向けてしまったのです。天上からその様子を見ていたゼウスは急いでアルカスを母と同じ熊の姿に変え、二頭を空に放り上げました。

このようにして、母のカリストは「おおぐま座」に、息子のアルカスは「こぐま座」になったとギリシア神話は伝えています。また天に投げるときにシッポをつかんで投げたので、熊のシッポが長く伸びてしまったと言われています。

春の晩に上の方を見るとヒシャクの形をした七つの星が並んでいます。ヒシャクの形が「おおぐま座」、ヒシャクの先にある北極星(ポラリス)をしっぽにしたのが「こぐま座」です。一緒に探してみてください。



◎ プラネタリウム春番組

投影番組：「春の大曲線で星めぐり」

投影期間：2022年3月5日(土)～2022年5月29日(日)

春の星座の探し方

春の空は、明るい星がちっと少なくて星座を探すのが大変です。でも、べんりな星の並びがあるので、がんばって探してみましょう。

★しし座

ししの大鎌（おおがま）とよばれる、はてなマーク「？」を逆さにしたような形に星が並んでいるところが、たがみの部分です。その左側のある台形が、ライオンのどう体とっほにあたります。ししの大鎌の根元にある一等星がレグルスで、しっほの先にかがやく二等星はデネボラです。

★かに座

しし座の右にある小さな四角形の星の並びが、かにのどう体です。どう体の四角形から、かにのはさみと足のびています。四角形の中にはプレセペという名前の、うす明るく輝く星団があります。まるで、かにがあわを吹いたみたいですね。

★うみへび座

かに座の下に、星が五角形に並んでいるのが、うみへびの頭になります。そこから、左へ長くどう体が伸びています。88ある星座の中で一番大きな星座です。

★北斗七星・北極星・こくま座

北の空に、明るい星が7つひしゃく形に並んでいるのが、北斗七星です。ひしゃくの水をすくう部分の先にある2つの星をつなげて5倍にのばしてみると、その先には北極星があります。北極星がちょうどこくまのしっほの先になります。

★おおぐま座

北斗七星のひしゃくの、取っ手の部分がおおぐまのしっほになります。

★うしかい座

北斗七星のひしゃくの取っ手の曲線をのばしていくと見つかる、オレンジ色の一等星アルクトゥールスが目印です。アルクトゥールスがうしかいの足下にあたります。そして、アルクトゥールスと5つの星が作るひし形が、うしかいのどう体の部分になります。

★おとめ座・春の大三角

北斗七星のひしゃくの取っ手の曲線をさらにのばしていくと、白くかがやく一等星スピカが見つかるはずです。これがちょうど、おとめの持つ麦のほ先にあたります。

また、しし座のデネボラと、うしかい座のアルクトゥールスと、おとめ座のスピカで形づくる春の大三角形からでも探すことができます。

★からす座・春の大曲線

北斗七星のひしゃくの取っ手の曲線をさらにさらに伸ばしていくと、船に張られている帆（ほ）のような形の星の並びが見つかります。これがからす座です。

この北斗七星のひしゃくの取っ手から始まって、うしかい座のアルクトゥールス、おとめ座のスピカを通り、からす座のいたる長い道を春の大曲線といえます。



3月20日 PM10時
4月20日 PM 8時
5月20日 PM 6時

春の星空ガイド

3月

- 3日 ●新月
- 5日 啓蟄
- 10日 上弦
- 18日 春の彼岸入り ○満月
- 20日 金星が西方最大離角
- 21日 春分の日
- 25日 下弦

4月

- 1日 ●新月
- 5日 清明
- 9日 上弦
- 17日 ○満月
春の土用の入り
- 20日 穀雨
- 23日 下弦
- 29日 昭和の日 水星が東方最大離角
はくちょう座α「カイ」が極大

5月

- 1日 ●新月
- 2日 八十八夜
- 3日 憲法記念日
- 4日 みどりの日
- 5日 こどもの日 立夏
- 9日 上弦
- 16日 ○満月
- 21日 小満
- 23日 下弦
- 30日 ●新月

投影番組

春番組『春の大曲線で星めぐり』

【投影期間】2022年3月5日(土)～2022年5月29日(日)

やわらかい光を感じられる春の星座観察は、北の空高くに昇った北斗七星から始めましょう。北斗七星は、北極星のほかにも、春の星を探す目印になります。

北斗七星のひしゃくの部分から緩やかな曲線を延ばしていくと、うしかい座のアルクトゥールスやおとめ座のスピカ、そしてからす座を見つけることができます。(春の大曲線)

また、春の注目はかに座のプレセペ星団です。ししの大鎌とふたご座の間に、光害の少ない空なら、肉眼でも美しいプレセペ星団がみられます。

それでは、プラネタリウムで春の星座観察をしてみましょう。星座のお話もあります。